

市新総合計画の主要施策⑤  
備中高梁駅のバリアフリー化  
と周辺整備～その2～

駅前交通渋滞



送迎を待つ車がバスセンターまで並んでしまう駅前の様子(午後7時ごろ)

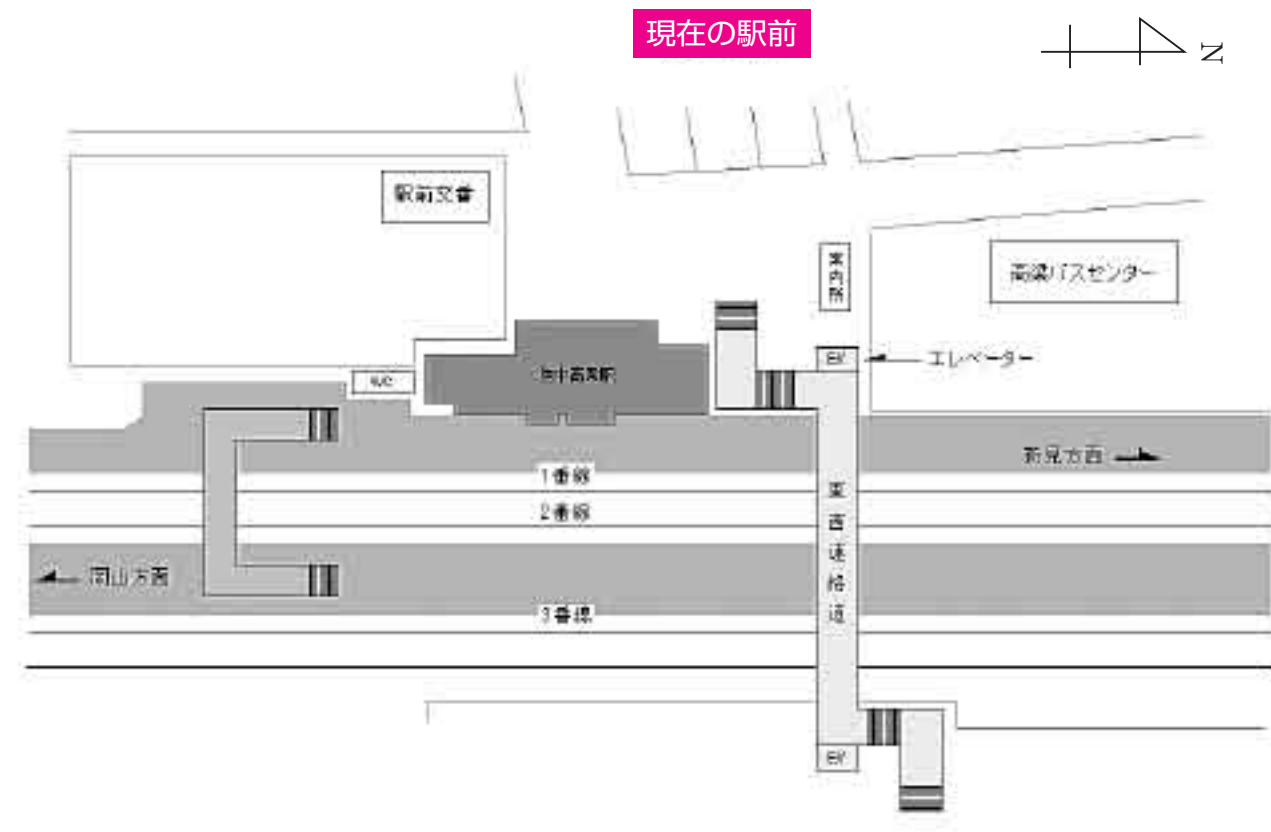
駅前の道路は、朝夕の通勤・通学の時間帯には送迎の車や路線バスで渋滞し、交通に支障があるだけでなく、駅利用者や歩行者にとっても、大変危険な状態となっています。東西連絡道(ふれあい連絡路) 出口前には、

駅利用者のための送迎車スペースを設置していますが、スペースに余裕がなく、実際にはバスセンター側へ何台もはみ出して縦列渋滞している状況です。

歩行者の安全確保

次に、駅を利用する際の歩行者の動線を考えてみましょう。駅からバスセンターや市役所方面へ向けて歩く際は、現在の観光案内所の横を必ず通行しなければなりません。

観光案内所の横は特に狭くなっており、どうしても道路(市道高梁駅柿木線)のすぐそばを通るようになっていきますし、バスセンターへのバスの進入時には非常に危険を伴っています。このことを解決するためには、駅から十分な広さの歩道を設置するとともに、道路幅員を広げ



現在の駅前



駅からバスセンター方面へ歩く人の様子

備中高梁駅のバリアフリー化については先月号で、駅東側の整備計画や東西連絡道に併設する形でエレベーターを整備した場合のバリアフリー化についてご説明しました。

今月号では、駅前の交通渋滞対策についてお伝えします。

問い合わせ 総合政策課総合政策係 ☎0202080



東西連絡道(ふれあい連絡路)

駅前広場の整備

以上のことから、皆さんが安心して駅を利用できるようにするためには、現在の駅前をもっと広くしなければなりません。そのためには、東西連絡道の出口や駅舎の位置を北側へ変更し、駅前に十分なスペース

を確保することによって、ロータリー広場整備をすることが必要となります。

これにより、駅前の交通渋滞緩和が期待されるとともに、駅前にゆとりのある空間が生まれることとなります。

来月号では、駅前ロータリー整備と、駅の橋上化についてお知らせします。

駅のバリアフリー化と併せて駅前広場を整備する場合

